

●わが社のCSR活動

CSR

事業活動を通じた社会的貢献活動

池野通建株式会社

1. はじめに

池野通建株式会社（以下当社）は、社是「誠実・信用・協調・創造」を行動理念とし、エクシオグループの一員として、日々の事業活動を通じてグループ理念を具現化し、社会の持続的成長に寄与することをCSRの基本としています（図1）。

- ①お客さまに感動していただける品質を提供する企業
- ②お客さま情報を大切に扱う企業
- ③働く人を大切にする企業
- ④環境にやさしい企業

を目指して、グループマネジメントシステムの維持向上および内部統制システムの適切な運用により、社会やお客さまから「地域と共に歩む総合エンジニアリング企業」として、信頼をいただけるよう努めています。

2. マネジメントシステム (MS) の取組み

当社は平成23年にエクシオグループの傘下に入りましたが、エクシオグループでは、グループ経営の効率化を図り、相互に連携し総合力を発揮していくために、グループ内のマネジメントシステムを統合することで、グループ・シナジーを効果的に発揮する取組みを行っています。そこで事業持株会社である協和エクシオ株式会社と主要子会社である和興エンジニアリング株式会社、

大和電設工業株式会社、および当社が、それぞれ個々に運用・管理してきたマネジメントシステム（QMS/EMS/OHSMS/ISMS）をグループ

統合のマネジメントシステムとして平成25年（2013年）から3年かけ構築していくこととしています（参考）。

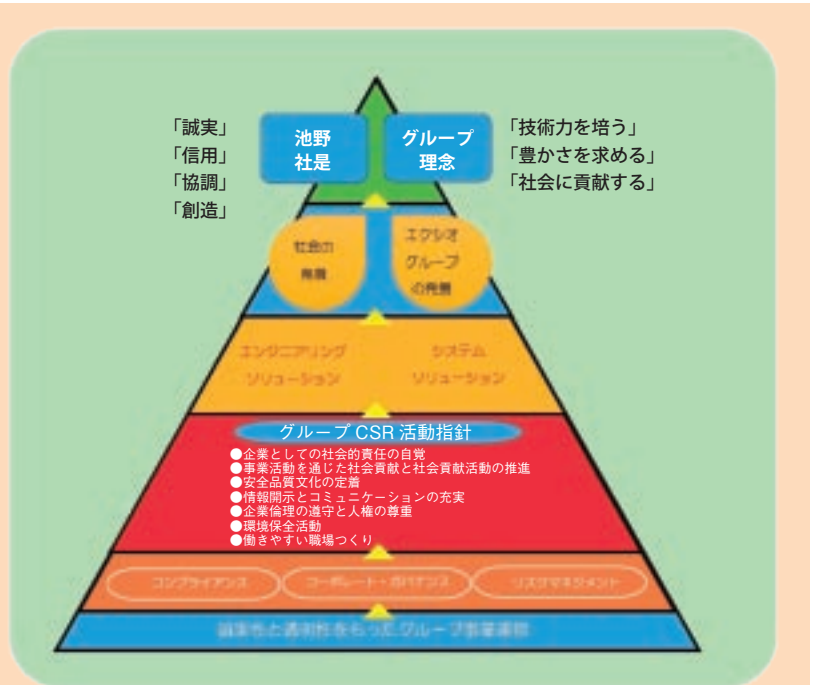
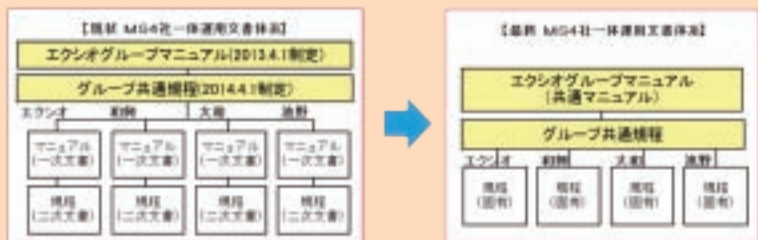


図1 CSR概要図

参 考

【エクシオグループ認証登録マネジメントシステム一覧】			
① QMS	JISQ9001：2008		(有効期限：平成29年(2017年)9月14日)
② EMS	JISQ14001：2004		(有効期限：平成29年(2017年)9月14日)
③ OHSMS	BS-OHSAS18001：2007		(有効期限：平成29年(2017年)9月14日)
④ ISMS	JISQ27001：2006		(有効期限：平成29年(2017年)9月18日)



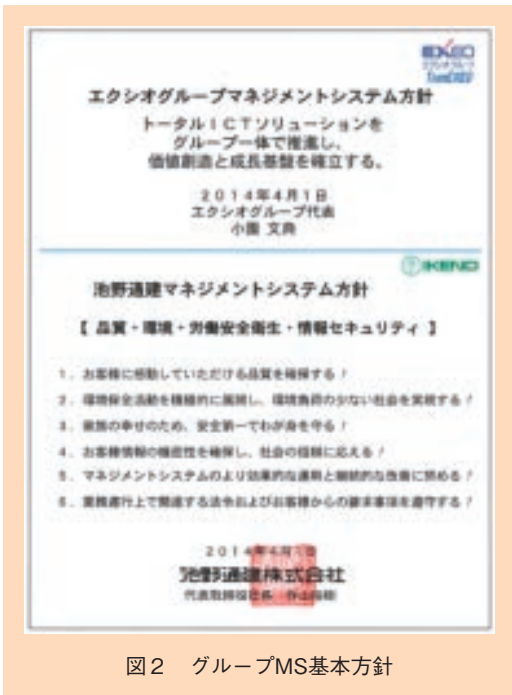


図2 グループMS基本方針



図3 審査登録証



写真1 表彰を受ける新井選手

はじめに、グループマネジメントシステム基本方針（図2）を定め、グループマニュアル、グループ共通規定を制定しました。次に、審査機関（日本能率協会）による一元審査を含め、グループ内で一体的に運用していくことにより、マネジメントシステムにかかわる情報共有・連携強化を図り、効率性・有効性を向上させ、コスト低減・生産性向上を図ることとしました。

この結果、平成26年（2014年）7月にグループマネジメントシステム認証審査を受審し、認証登録が完了しています。なお、今回の審査より、当社の労働安全衛生マネジメントシステムはCOHSMS（準拠）からOHSMS認証（図3）に変更されました。

3. 安全・品質向上への取り組み

当社では、日々の安全施策の展開・取り組みや、安全大会・研修による啓発活動、改善提案等による安全・品質の向上に努めています。そ

の取り組みの成果を以下に紹介します。

(1) 各賞の受賞

①第9回光通信工事技能競技会での光故障修理（個人）競技部門優勝
 本年7月に、横浜で開催された第9回光通信工事技能競技会 光故障修理（個人）競技部門において、当社の代表として出場した新井選手が、見事優勝しました（写真1）。新井選手は主に開通工事を担当していますが、競技会出場に際して、準備を重ね、光故障修理技術とお客さま対応スキルのさらなる向上を図り、今競技会から新設された光故障修理（個人）競技部門において、栄冠を獲得することができました。

当社の受賞は今回が初めてであり、選手本人はもとより会社全体が今回の快挙を大いに喜びましたが、これからも継続的に技術者の育成強化を図り、さまざまな情報通信技術に対応できる体制の構築に努めてまいります。

②NTT東日本様のベストエリア賞（首都圏エリア）受賞

NTT東日本様より、平成25年度サービス総合工事等において、当社埼玉支店が受け持つ川越エリアが首都圏部門25エリアのなかで設備品質の向上等に大きく貢献した社外団体に贈られる「ベストエリア賞（首都圏エリア）」を獲得し、本年4月22日にNTT東日本様本社で開催された通信建設会社社長会において表彰されました（写真2）。

この賞は、11個の評価項目で総合評価されますが、その中でも「平均開通納期」、「システムによる設計実施」、「システムデータ補正」および「写真検査の適正化」の4項目で当社は特に高い評価をいただき、その他の項目も良好な成績だったこと

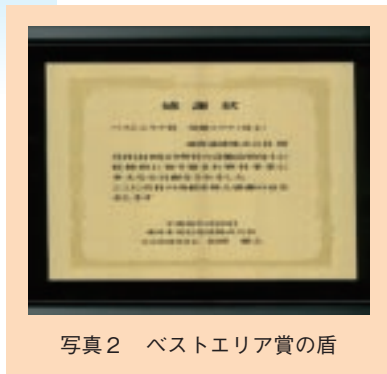


写真2 ベストエリア賞の盾

から総合的な評価で受賞に結びついたものです。

また、NTT東日本様の設備パートナー会社の評価においても、10社中2位の成績となりましたが、これらは、当社社員や協力会社が一丸となりNTT東日本様のお客さまサービスおよび設備品質の向上に努力してきた結果と考えております。

今後も、総合エンジニアリング企業として「作業現場における安全と品質確保」を最優先に諸施策を展開し、お客さまをはじめ社会から大きな信頼を獲得できる会社になれるよう努力を続けていきたいと考えております。

(2) 安全の取組み

KY活動は、作業員1人ひとりが危険に対する感受性を鋭くし、行動の要所所で集中力を高め、ヒューマンエラーをなくしていくために大変大事な取組みです。当社も、日々作業前のミーティングでKY活動に取り組んでいますが、ややもすると形式的なものになりがちです。そのため、当社では「自ら宣言し、実践するKY」の取組みを展開しています。具体的には、昨年より「私ならこうする安全宣言」と題して、協力会社も含めすべての関係者が「自ら安全に対するコミットメント」を示し、安全意識を高めるとともに、日

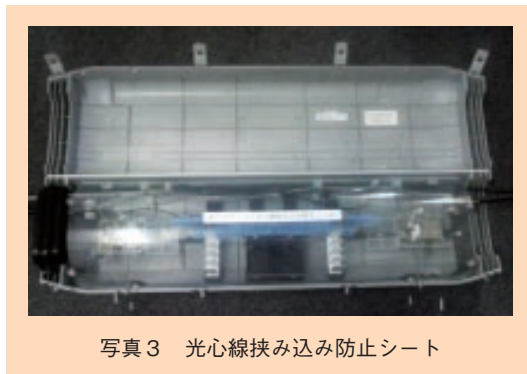


写真3 光心線挟み込み防止シート

常の業務で実践しています。その取組状況は、安全パトロールや対話会にて確認し、安全行動の徹底・定着を図っています。

また、少子高齢化社会の到来により、雇用延長等に伴う高齢労働者の就業が増加し、加齢に伴う心身機能の低下を要因とする労働災害の防止は、日本全体でも重要な課題となっています。当社は、従事者名簿をもとに年齢構成を取りまとめ、高齢者に対しては、セルフチェックの実施により、体力やバランス感覚について自己確認し、ケースによっては作業内容を見直すなどの対応をとっています。高齢労働者は、豊富な経験と知識を有する有力な戦力です。個人の体力・能力にあった作業分担をすることで、安全な施工環境を作り上げていきたいと思えます。

一般論ですが、ハインリッヒの法則にもあるように、1つの重大な事故の裏には29の軽微な事故があり、さらにその裏には300の「ヒヤリハット」があるといわれています。1つの重大な事故を未然に防ぐためには、29の軽微な事故や300のヒヤリハットをいかに集め、原因を見つけて、事前に対策を立てるかが重要です。そのために、軽微な事故はもちろんのこと、ちょっとした気がかりなことについても、エスカレー

ションすることで、事故の未然防止の徹底に取り組んでいます。当社の社是にある「誠実」、「信用」は、「誠実、つまり真心をもって物事に取り組むことで、社会やお客さまの信用を得ることができる」という意味であり、偽装や隠ぺいをせ

ずまっすぐな心で報告・対処することができるよう、社員全員で努力していきます。

(3) 品質向上の取組み

品質の向上に対しては、日々の作業における問題点について工夫や改善をすることにより、より品質の高い施工となるよう努力しています。その1例として、「光心線挟み込み防止シート」を紹介します（写真3）。架空で作業している作業員から架空クロージャを閉める際に光心線を挟み込みそうになったことがあり、架空用の光心線挟み込み防止シートが欲しいという要望がありました。以前、地下用光心線挟み込み防止シートを当社で考案しましたので、その時のノウハウを踏まえて形状を工夫し、施工がしやすく安全な製品を考案しました。本製品は情報通信エンジニアリング協会が進める「SKY(VE)提案活動」の第27回SKY選奨に選ばれており（本誌6ページ参照）、広く業界全体での確実な施工のために活用していただきたいと思えます。

4. 地域・社会貢献活動

(1) 福祉事業による社会貢献

当社は、昭和59年から30年以上にわたり、福祉事業として視覚障害



写真4 音声誘導装置

写真5 音声案内システムによる
誘導案内

写真6 清掃活動の様子

者向け生活支援製品について開発から製造・販売までを一貫して行っており、障害者が携帯する製品のなかには障害者自立支援法の「自立生活支援用具給付対象品」に指定されている商品もあります。また、国土交通省の公共建築工事標準仕様書に採用されている音声誘導装置（写真4）は、全国の公共施設や鉄道施設に導入されています。

当社は、福祉機器製造メーカーとして、各地で開催される障害者団体のイベントに対し協賛や支援活動を積極的に行っており、最近の例としては、9月に開催された「第60回記念全国盲女性研修大会東京大会」において、会場内に当社の音声案内システムを無償で設置し（写真5）、参加された皆さんに使用していただき、製品をPRするとともに改善要望の意見をいただきました。このように、障害を持たれている方々とのコミュニケーションを深めながら、新しい製品開発にフィードバックをし、よりよい製品開発に取り組んでいます。

今後も、障害を持たれている方々が安全・安心して過ごせる街づくり、環境づくりを常に考え、新しい生活支援製品を考案してまいります。

(2) 清掃・美化活動

当社は、事業所ごとに事務所周辺の清掃・美化活動などに継続的に取

り組み、地域社会の一員として地域の方々とのコミュニケーションを図っています。例えば、群馬支店では、毎月第2水曜日に事務所周辺の清掃活動を行っています（写真6）。当社社員と協力会社従業員の総勢60名が、事務所構内と隣接する道路にちらばり、ビニール袋を片手にゴミ拾いをを行います。夏場には草刈りも行っており、地域の皆様に喜ばれています。全員で行う活動は、事務所内の一体感も構成され、職場の活性化にも寄与しています。

5. コンプライアンスの推進 に向けた取組み

コンプライアンスについては、法的・社会的環境の変化がリスクを顕在化させている現状において、法令などの遵守のみならずモラルを高め、社会の要請に誠実に対応していくことが求められています。

当社は日常業務を遂行する上で遵守すべき行動基準を定め、毎月、各職場で勉強会を開催しています。社員が持ち回りで講師をつとめ、業務に関するトラブル事例やコンプライアンス違反事例、お客様情報漏えい事故事例などを取り上げ、法令や社内ルールはどうなっているか、チェックポイントはどこかなどを議論し、社員の意識向上を図っています（写真7）。

写真7 コンプライアンス勉強会の
様子

今後も、コンプライアンスの徹底により当社の経営基盤を構成し、社会貢献の責任を引き続き果たしていきたいと考えております。

6. おわりに

当社は昭和22年の創業以来、今年8月で67周年を迎えました。エクシオグループの一員として、社会的責任を果たしつつ、業容拡大の展開、経営の効率化・安定化を図り、存在価値を高めていきたいと考えております。また、今後も総合エンジニアリング企業として安心・安全なサービスを提供し、お客さまの良きパートナーとなり、地域社会に愛される会社でありつづけたいと願っております。

紹介した取組みは一部ですが、さらなるCSRの取組みを展開し、社会の持続的発展に向けて貢献していきたいと考えております。